

かがやき

発行日 平成28年3月1日
発行者 西中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷市倉敷西公民館
倉敷市八王寺町199-3
E-mail ph-kuranishi@kurashiki-oky.ed.jp
http://www.kurashiki-oky.ed.jp/kurashiki-nishi-ph/index.html

人権作品表彰式



平成27年12月6日(日)、児童・生徒が取り組んだ人権に関する作文・ポスター・標語の優秀作品表彰式を行いました。
本年度は、万寿・倉敷西・老松・中洲の各小学校と西中学校から、55点の応募がありました。表彰式では、作文の朗読をしたり、ポスターや標語の作品に対するそれぞれの「思い」を発表したりして、参加者も学ぶことの多い、有意義な時間を過ごしました。

ポスターの部

倉敷西小学校2年
花谷 結愛



中洲小学校2年
武野 ひなた



西中学校2年
石崎 伊吹



老松小学校3年
川井田 沙優



作文の部

倉敷西小学校6年
小原 穂乃花
「人権の大切さ」

老松小学校4年
伊藤 拓希
「認知症を
学んで」

中洲小学校4年
高倉 優依
「小さな教室
大きな友だち」

万寿小学校6年
守安 咲乃
「『生きる』と
いうこと」



標語の部

万寿小学校六年
矢島 寧々
ありがとう
せかいのどこでも
いいことば

中洲小学校一年
横畑 新
まぶしいな
やさしいところと
みんなの えがお

老松小学校四年
高橋 春羽
なかよく 楽しく
えがお まんかい
一人一人が 宝物

西中学校三年
有安 真穂
負けないで
君の命は
皆の希望

大内保育園



子育て講演会



～絵本を通しての子どもとのかかわり～

1月20日(水)の保育参観後、福音館書店東京本社より、池田卓也氏をお招きし、人権講演会を行いました。

「絵本は言葉の世界が広がり、自分なりのイメージを作ったり補ったりする力や、登場人物の気持ちになり心が動く経験をすることで豊かな心を育てていきます。また、膝に座り読んでもらうなどの行為から親子の絆が深まったり心の基地を作ったりします。」など、絵本の魅力や子育てと絵本の関係を実際に絵本の読み聞かせや様々なエピソードを交えたお話で、とても分かりやすく、参加した保護者の方は絵本に出会った幼い頃を思い出しながら楽しく聞かせていただきました。最後に絵本の選び方のポイントを教えていただき、すぐに図書館や本屋さんに行かれた保護者の方もいたようです。



小さい頃は親子で絵本に触れることができ、どのような絵本に出会い、どのように人と関わるかでその子の成長は変わってくるそうです。

保護者とともに保育園でもこの時期を大切にしていきたいと思います。



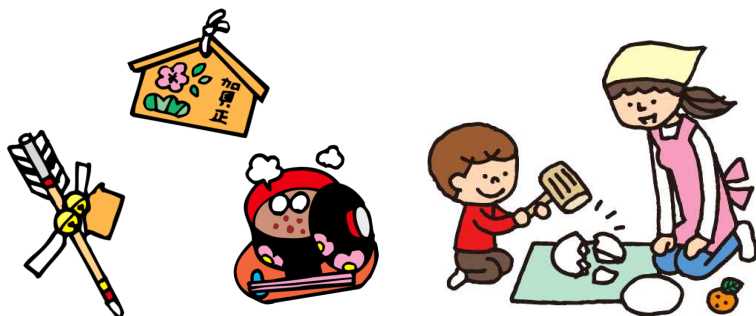
中洲認定 こども園

鏡開き・とんど焼きをしたよ！

1月14日(木)、未就園児親子クラブのお友達と一緒に、鏡開き・とんど焼きをしました。

園でついた鏡餅を木槌で叩いて鏡開きをし、家庭に飾ってあった正月飾りや、子どもたちが描いた絵、書初めなどを燃やしました。「字が上手になりますように。」「鉄棒ができるようになりますように。」「みんなが元気に過ごせますように。」など、お願い事は様々・・・火が付くと煙が空高くのぼり、「うわー！たかーい！」と歓声が上がりました。

日本の伝統的な行事を知るよい機会になるとともに、新年に地域のお友達や、園のみんなと一緒に火を囲むことで、心も温かい気持ちになりました。その後、おいしいおしるこもいただき、お腹も温かくなりましたよ♪



万寿小学校

楽しかったね！ 三世代ふれあいもちつき大会

平成27年12月19日(土)、万寿学区の地域の方々(園児・小学生・中学生・保護者・老人会等)がふれあえる活動として、『三世代ふれあいもちつき大会』がありました。

子どもたちは、地域のお年寄りやお父さん・お母さんに、もちのこね方、つき方やまるめ方のコツを教えてもらいながらもちつきを楽しみました。最初はとまどっていましたが、少しずつ慣れ、周りからほめられ充実した表情を見せていました。うまくできガッツポーズをする子もいました。

愛情がいっぱい詰まってきたてのおもちはたいへんおいしく、みんな笑顔で食べていました。もちつきの他、ペタンクや輪投げも行われ、子どもたちは、地域のいろいろな方とふれあいを楽しみながら、様々な体験をすることができました。帰る時の満足そうな顔がとても印象的でした。



【じょうずに つけるかな？】



【うまく丸めることができたよ！】



西中学校区青少年を育てる会

第13回ふれあいうォーク

平成27年11月15日(日)、雨のため翌日に延期となった『ふれあいうォーク』を開催しました。前日とは打って変わって晴天に恵まれ、570名が参加しました。

倉敷大橋の架橋に伴い、水江の渡し船が廃止となるので、最後の乗船を楽しみにして参加された方も多かったのですが、雨により河川が増水して危険なので、残念ながら水江渡しコースは急遽、酒津散策コースへ変更になりました。

しかしながら、気持ちいい秋晴れの中、ウォーキングをしたり地域の文化に触れたりした後に食べるうどんの味は格別のように、大盛況のうちに終えることができました。

ご参加、ご協力くださった皆様方、本当にありがとうございました。



【参加した中学生の感想】

- 私は、酒津えのき窯が一番印象に残っています。普段見られない陶芸をしているところを見れたり、色のつけ方を教えてもらったりしました。その後は、みんなが楽しみにしているかうどんを食べました。たくさん歩いたりしゃいだりしてお腹がすいていたので、すごくおいしかったです。今年は、雨の関係で水江の渡しができなくて残念でした。また機会があれば参加したいです。
- 普段は触れることができない酒津焼などの地域の特産品に触れることができ、とてもいい勉強になりました。一緒に歩いた部活動の仲間ともたくさん話せて、絆を深めることができてよかったです。中学生になってから休みの日は、家でゲームをしてばかりだったけど、外で遊ぶのも健康的でいいなあと思いました。
- 初めて『ふれあいうォーク』に参加しました。僕は餅つきと準備をしました。準備をしているとき、人に必要とされる楽しさとやりがいを感じることができました。餅つきは思っていたよりもとてもきつかったです。今回の『ふれあいうォーク』を通して、自分から積極的に手伝えることを探すということ、みんなで一つの作業を成し遂げるといった協力の大切さを知りました。



1月20日(水), 老松ふれあい会館において, 講師に明誠学院高等学校教育指導顧問の内田隆志先生をお迎えして, 「伝えたい言葉・歌『スタンド・バイ・ミー』」と題して, 人権講演会・コンサートを行いました。

内田先生は, 高等学校に勤務されながら, 県内の中学校や公民館を中心に数多くの講演会・コンサートを行い, その活動は, 新聞等のマスコミにも取り上げられています。

コンサートでは, 戦争やヨーロッパの難民のこと, 阪神淡路大震災・東日本大震災のこと, そして母親の介護を通して感じたことなどについてのトークを交えながら自作の曲を歌い, 会場がしみりとした気持ちと笑いに包まれました。

【参加者の感想】

- 軽やかな歌声, ウィットに富んだお話の中に, いろんな問題が含まれていて, 何事もなく日々を送っている私も色々考える時間をいただきありがたいことでした。
- 思いのこもった歌と言葉でした。権利, 義務, 主張, 犠牲など多種多様な思いを抱く日々ですが, 『あなたがいるだけでうれしい』を基本にしていけたらと思いました。よい機会をいただきありがとうございます。



1月24日(日), 倉敷西公民館主催の人権教育講演会が開催されました。今回は, テレビへの出演も多く, 全国的に活躍されている萬屋手話本舗『ぷ〜&み〜』の三宅 寿さんとさとう正士さんをお迎えして楽しい時間を過ごしました。

ボケ役の聴覚に障がいのあるさとうさんとツッコミ役の三宅さんの絶妙なコンビネーションで, 『笑いのバリアフリー』を実現。会場が笑いの渦に包まれました。

バリアのない社会の実現のために, 私たち一人ひとりが心がけていく必要があることを教えていただきました。

